

Title	スポーツをする子供達のためのフェアプレイ規範
Author(s)	Canadian Council on Children & Youth; 田中, 四郎
Citation	大阪外国語大学論集. 1 p.351-p.363
Issue Date	1990-01-25
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/79469
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

スポーツをする子供達のためのフェアプレイ規範

Canadian Council on
Children & Youth 編

田 中 四 郎 訳

は し が き

本稿は、子供達がスポーツを健全に行なうことができるように推進するために、1976年にカナダ青少年協議会が、選手をはじめ指導者や両親、観衆及び報道関係者等を対象にして、本来あるべき正しいスポーツの姿や取り組み方を「フェアプレイ規範」という形で、各項目ごとに具体的な例を示しながら、スポーツに携わる関係者の人達に訴えたものである。文部省がまとめた、昭和63年度の学校保健統計調査によると、最近の子供達は10年程前の子供達よりはるかに早熟で、大型になっているとのことである。しかし、その反面では、テレビゲーム機や受験勉強の影響による、視力の低下が目立ち始めてきている。

終戦後の第一次ベビーブームといわれる時期に生まれた子供達には、電気仕掛けで動く玩具はなかなか手に入れることができなかった。したがって、必然的に彼らの遊び道具は、身近な物にならざるを得なかった。その頃と比べて、最近の子供達の遊び道具は、手作りの物から既成の電化製品に変わってしまった。このように子供達の遊びは、時代とともに変化しているが、このままでいいのであろうか。このような時代だからこそ、これからの時代を担う子供達の健康とスポーツの在り方について考える必要があるのではないだろうか。そのような疑問を持つ人達のための参考になれば幸いである。

編集者宛：

僕は、まだ12歳だけど、卑劣なスポーツマンシップは見たら分かります。それは、僕のような若い人達の間ではなくて、大人達同志の間でのことです。

6月16日の日に、私達の Laurentian チームは Rockway チームとサッカーのゲームをしました。ゲームの時間を後4分を残して、1-0のスコアで私達が優勢という時に、ロックウェーイのチームの一人が、サイドライン方向にボールを蹴りました。私はもちろんほとんどの人が、そのボールは外に出たと思いました。審判員の人達もそのように判断しました。しかし突然、ロックウェーイのチームから一人の父親が、手摺りから飛び出して来て審判と口論をし始めました。長い口論の末、その父親は審判員を殴りました。審判が歩き去った後、その父親は審判員に唾をかけました。ゲー

ムの終了後に、その父親は再び審判員を殴りました。彼は審判員が自動車に行くまでずっと抗議していました。私達は、同じようなことを何度も経験しました。そして、このようなことでゲームを台無しにしてしまいます。ただ最善を尽くそうとした審判員の人にとっては、とても失望したに違いありません。私達は、友達と楽しむためにサッカーをしているのですが、これは一体全体どうなっているのか不思議でなりません。

Nic Pfaffing Kitchener

序 文

カナダ青少年協議会は、子供達の擁護者として奉仕すること及びカナダの子供達に代って、さまざまな運営組織の中での協力とコミュニケーションを推進するために、国民のボランティア団体として1958に発足いたしました。高度に都市化する中で、貴重な活動経験を必要とする子供達に対する関心度の増大に答えて、当協議会は、子供達の活動に関する国民的な事業実施本部を設置いたしました。その四つの主要な研究分野は、1) リーダーシップ・トレーニングの活動；2) 病院における活動；3) スペースガイドの活動；4) スポーツにおけるフェアプレイです。これらの研究分野は、事業実施委員会によって準備されたもので、スポーツをする子供達のためのフェアプレイ規範として、健全な競技会への参加やすべての人達の喜びと成熟に関する内容が論じられてあります。この小冊子は、子供達のためのスポーツの恩典を蝕む、最近の行き過ぎた勝利の強調に対する非難でもあります。事業実施本部は、スポーツプログラムの焦点を再び元に戻すことを望んでいます。そうすることによって、参加する子供達の能力や増大する必要性や期待は、彼らに相応しいものだけが、注目されるようになります。

フェアプレイ規範は、子供達のスポーツプログラムにおける選手、指導者、役員、親、教師、管理者、観客、それに報道関係者のすべての人達の道標として使用することができます。

スポーツは子供達に何を与えられるか

スポーツに参加する子供達は、新しい挑戦や技術の向上、それから成就の意識や大きな喜びだけでよいのです。子供達は、自分の能力の限界を試している間に、新たな挑戦を受け入れる危険性をも学んでいます。彼らは、チームメイトとの協力や健全な競技について学ぶことができます。スポーツは、子供達的情緒や社会性を競技状況における健康的なストレスによって成熟させますが、彼らに新たな身体と精神の向上をも援助することができます。スポーツは、子供達が積極的に参加するための意欲を育てます。そして、その意欲が、彼らの体力や健康に対する生涯の関心の基礎になるわけです。現在スポーツに参加している子供達は健康的ですが、これがいつまでもそうだとは言えないでしょう。子供達の楽しい参加が、大人達の不合理な期待や子供達のスポーツプログラムに関与しだすことによって、危険になってきたのはまぎれもない事実であります。大人達の参加は、飲

迎ですし、必要です。しかし、数人の大人達が、子供達の欲求や興味を踏みにじるような不当な要求をするのを観ていると、不安な気持ちにさせられます。子供達にベストを尽くすように勇気づけることと、それらから得られる満足感や子供達の能力と興味のレベル以上のことを押し付けることを、区別することは極めて重要であります。子供達が、自分の演技を相手の選手と比べるよりも、自己のベストを尽くす価値を学ぶほうが大切であります。

スポーツのどこに“プレイ”があるのか

過去10数年において、いくつかの驚くべき傾向が、子供達のスポーツプログラムに現われてきました。それは、全てを犠牲にしても勝とうとするためによるプレッシャーや子供達の競技中における暴力的な傾向の増大、あるいはレベルの高い厳しい競技に出場しようとする才能のある参加者に対するプレッシャー等であります。これらの傾向は、大人志向の態度に反映されております。これは子供達のスポーツプログラムが、プロフェッショナル・スポーツの単なるミニチュア型であるというような、基本的に間違った考え方から生じているのです。このような観念は、間違いですし危険なことです。子供達は、プロフェッショナル選手のミニチュアではありません。プロフェッショナル・スポーツは、私達のような地域社会に生活しているスポーツに興味のある人達の態度に、何らかの影響を与えております。したがって、子供達に与える影響は、大人達が建設的で援助的であろうとすることに関心と自覚を示すか否かであります。例えば、大人達は個人の選手に技術や方法について指摘したりすることができるし、スポーツマンシップやチームワークのあるチームを誉めてやることもできます。それから、大人達は、マスコミに利用されて大衆を喜ばすために、誤った異常な行動をする選手や汚い手段を使うチームに対して抗議することもできます。また、大人達は、プロフェッショナル・スポーツの正しい価値と模範を見つけるための手助けを子供達にしてやることができます。最も大切なことは、大人達自身が、スポーツをする子供達に対して、理想的な期待を確保することにあります。

もし、私達子供達の成長やスポーツの特別な必要性を見失うようなことがあれば、スポーツに参加する子供達の潜在的な利益を失うことになるでしょう。観衆が常に心に留めておかねばならないことは、観衆はプロフェッショナルの選手の競技によって楽しませてもらっているのではないということです。大人達は、子供達のゲームを観ているのだということです。

勝利を見通したフェアプレイの要求

現在のような組織は、勝つことや個人的な栄光を強調し過ぎるために、子供達の気持ちを混乱させて、どうしたらいいのかわからなくしてしまいます。子供達は、勝つことに対する継続的なプレッシャーによって、欲求不満を訴えております。また、自分達が不適当か、あるいは二流と感

ために、やめてしまったりもします。非常識な用具の値段や指導料金のために、スポーツに参加することがなくなります。才能のある選手達にとっての勝利が、試合の一つの結果ではなくて、そのこと事態が競技の目的になってしまいます。競技会は、子供達に忍耐力や努力、それからチームワークを教えるという意味において、価値のある訓練の場になります。また、競技会は、彼らの対戦相手やチームメート、それから自分自身にも、競技の素晴らしさや技術の良さと価値を認める機会を与えてくれます。それから、最終的な得点や全体の中での順位などは、一番であることを教えてくれる他にはなんでもないということを、子供達に伝えることです。何かをより良くしようとする実践欲や美的評価は、勝つことの必要性を最優先することによって失われてしまいます。

そんな具合ですから、勝つことを優先にすると、子供達がどんな犠牲を払ってでも、勝たなければならないと思い始める小さな一歩になりかねません。また、スポーツプログラムの中での卑劣な態度は、子供達の生活の中にも現われてきます。

スポーツにおける子供達の問題点

1983年の身体活動とスポーツに関する学会以来、子供達のスポーツにおける不安な問題点が、国民の注目を浴びるようになりました。それらの問題点は、次のようなことです。

- 子供達の高いレベルでのスポーツの競技大会における暴力的な行為。
- 勝つためには、手段を選ばないという傾向によって、子供達の感情の発達や技術の向上に有害な結果をもたらしている。
- 他の選手の能力や技術に対する関心の低下によって、不健康な争いや怯えさせられるような雰囲気を作り出している。
- 子供達に対する大人達の不当な価値観や規則が、子供達のやる気や参加者の協調性を歪めている。
- 指導者や親達の中には、子供達の発育や発達に対して非現実的な期待をしていることについて、認識していないひとがいる。
- 若い参加者に対する安全性と喜びの確保が欠けている。
- 報道関係者は暴力や乱暴なプレイを取り上げて強調する傾向がある。
- 一般的に、組織的に行われる子供達の競技場面において、スポーツマンシップの欠如が見られる。

スポーツ規範におけるフェアプレイ

前記のような問題を取り扱ったカナダ青少年協議会は、子供達を中心にした姿勢を取り戻すための努力を推し進めることになりました。したがって、プレイ経験の質は、子供の能力や技術がどうであれ、スポーツに参加する子供達みんなの要求に合うように、向上させることができます。協議会は、スポーツにおける子供達の参加が、肯定的な要素となるよう強化するために、スポーツにお

けるフェアプレイ規範を表明いたしました。また、その規範は、次のようなことを考慮して立案されました。

- ・子供の参加に対する喜びと楽しさの要素を取り戻す。
- ・子供達は、彼ら自身の満足のためにプレイするのであって、大人達や仲間のグループを満足させる必要がないということを、大人の人達に分かってもらうようにする。
- ・全ての子供達が、何かのスポーツに参加するよう勇気づけたり、魅力的で、安全で、楽しくなるような身体的リクリエーションによって、青少年の体力を向上させるようにする。

この規範は、実践を重要視して作成されたものです。また、この案内書は、子供のスポーツに係る選手、指導者、役員、親、教師、管理者、観衆及び報道関係者の人達のためのものとして考えてあります。スポーツプログラムに参加する子供達から、そのプログラムを組織したり援助する大人達までが、このフェアプレイ規範を実践することは、みんなの責任であります。みんなの姿勢と行動を結集すれば、きっとフェアプレイとスポーツマンシップの高い水準を確保することができますでしょう。

協議会は、この規範が適応され広範囲に利用されることによって、現在の子供達のスポーツに対する姿勢と行動に必要な変化が導入されることを望んでいます。この方法で、フェアプレイの理論が強調するところの、楽しみや友好的な競技、それから自己実現というものを、スポーツプログラムの中に形成させることができます。子供達が、仲間と共に楽しく参加するスポーツプログラムを通して、自分の能力や可能性に対して自信が持てるようになり、生涯を通しての体力やスポーツ活動の利益に、心を配ることができるようになります。

選 手

君が、勝つか敗けるかではなくて、どのようにゲームするかである。

(from Grantland Rice)

選 手 の 規 範

1. 自分の親や指導者を喜ばすのではなく、楽しみのためにプレイする。
2. 規則にしたがってプレイする。
3. 役員の決定に対しては、絶対に抗議しない。自分達のキャプテン、または指導者に必要な質問をしてもらう。
4. 自分の気持ちをコントロールして、愚痴を言ったり、ステイクを壊したり、バットやその他の用具を投げたりしない。
5. チームの仲間と同じように頑張って練習する。それは、自分のチームのためだけではなく自分自身のためにもなる。

6. スポーツの素晴らしさとは、自分のチームだけでなく、相手のチームの勝れたプレイに対しても声援を送ることである。
7. 自分が扱われたいと思うように相手の選手を扱うとともに、どの選手に対しても威張り散らしたり、不利益なことはしない。
8. ゲームの目的は、楽しんだり、技術を向上させたり、気分をよくしたりすることだということを実感する。
9. 自分の指導者やチームの仲間、それから相手の選手達と協力しなければゲームはできないことを実感する。

指 導 者

成功する指導者は、勝敗の記録よりも選手の興味や幸せのことについて気を配ります。

指導者の規範

1. 指導者は、若い選手達の時間や労力に対する要求について責任がある。彼らには、他にも興味があることを忘れてはならない。
2. ゲームの規則は、誰もごまかしたり破ったりしてはならない、お互いの同意であることを子供達に教えてやる。
3. できるだけ子供達の年齢や身長、それから技術や体力にしたがって班別をする。
4. 才能ある選手達だけに対する長時間のプレイは避ける。平均的な選手達にも同じような時間が必要だと望まれている。
5. 子供達は、楽しさと喜びのためにプレイするのであって、勝利はただその一部でしかないことを実感する。子供達の失敗や試合に敗れたことに対して、決して嘲笑ったり、大声で怒鳴ったりしてはならない。
6. 施設や道具が安全規格に合っていることはもちろん、選手達の能力や年齢に適当か否かを確認する。
7. 子供達の成熟度を考慮して、練習や試合時間を決めなければならない。
8. 審判役員や相手の指導者に対するのと同様に、相手選手の能力を尊重できるような、チーム作りをする。
9. 怪我をした選手が、再びプレイできるようになったときは、医者の忠告に従う。
10. 子供達が尊敬できるような指導者が、必要だと実感する。子供達に対するほめ言葉は寛大であり、良い見本を示さなければならない。
11. 望ましい指導に関する情報や子供達の発育発達の実証を確保するよう努める。

親

子供はどこで良いスポーツを学ぶのでしょうか。それは家です、子供がスケートをしたり、チームに参加したりする時には、スポーツマンシップの意識はすでにでき上がっているわけです。

親 の 規 範

1. 嫌がる子供をスポーツに参加させない。
2. 子供達は、自分の楽しみのために組織されたスポーツに参加するのであって、親のためではないということを自覚する。
3. いつも規則にしたがってプレイするように子供達を励ます。
4. 真面目な努力は勝つことと同じように大切なことだと、子供達に教えることによって、それぞれのゲームの結果に対して極端に落胆することがないようにする。
5. 子供達が、正しいスポーツマンシップや技術の進歩のために努力するように援助することによって、敗北を勝利に変える。決して、試合に敗けたことや失敗したことに対して、子供達をののしったり、あざけったりしない。
6. 子供達は、模範のプレイから学ぶことが最高であることを自覚する。素晴らしいプレイに対しては、自分のチームや相手のチームのメンバーにも拍手を送る。
7. 公の場では、役員の判断や正当性を疑わない。
8. 子供達のスポーツ活動からは、言葉や身体が悪用を排除する。
9. ボランティアの指導者の価値と重要性を認識する。なぜならば、彼らは子供達のレクリエーション活動のために時間と労力を提供してくれる。

教 師

子供達のために楽しみと正義を確保しましょう。もし、子供達を失ってしまったら勝利が何になるのでしょうか。

教 師 の 規 範

1. 子供達が、さまざまなスポーツの基本的な技術を向上するように励ます。また、彼らの発育期においては、同じプレイのポジションを専門化することを避ける。
2. 教師が、子供達に基本的な技術を教えたように、スポーツマンシップを教える機会を作る。
3. 素晴らしいスポーツマンシップや技術の向上に対する努力の保証は、賞賛や評価の反響によって報いられる。
4. 選手は生徒なのだから、彼らに対する熱意や努力の要求は理にかなっていなければならない。

5. 幼い子供達の技術の学習や自由な遊びの活動は、高度に組織された競技会より優先されるよう保証する。
6. 要求される技術を最初に指導してから、学内や学校間の競技会を子供達に準備する。
7. 正しい指導理論や子供達の発育発達の理論の情報を収集するよう努める。
8. 子供達が、テレビで見るプロフェッショナルのゲームと自分達がするゲームでは、根本的に意味が違うということを、理解できるように援助する。プロフェッショナルの選手達は、人を楽しませるプレイによって賃金を獲得している。
9. 子供達自身が、フェアプレイとアンフェアプレイなプレイに関する自由な選択と責任について理解できるように援助する。
10. 子供達にスポーツの身体適性の価値や生涯レクリエーションの価値について、自覚させる。

役 員

スポーツマンシップやフェアプレイは定められた規則ではない。それは生活の規範であります。

役 員 の 規 範

1. 選手の技術レベルに合った規則や修正された基準を定める。
2. ゲームを高望みしすぎることによって、子供達のゲームの精神が失われないためにも一般的な常識を確保する。
3. 言葉よりも行動の方がものを言うので、競技場の内外でも、役員の行動は、良いスポーツマンシップの原則にしたがって安定していなければならない。
4. どのような時でも、良いプレイに対しては、どちらのチームでも褒めてやる。
5. すべての違反コールに対しては、丁寧で、客観的で、矛盾していないようにする。
6. スポーツマンらしくない意図的な反則を戒めることによって、フェアプレイ精神の尊重を確保する。
7. 宣伝記事は、楽しみや喜びのための参加の原理を促進するために、規則の変更を推進したりする。
8. 子供達の発育発達の理論や健全な役員の原則を確保するために、情報を集める。

管 理 者

管理者は、第一にゲームの精神がフレンドシップで、競技が第二となるための鍵を握る人物になります。

管理者の規範

1. スポーツに参加する平等の機会、子供達の能力、性別、年齢、あるいはハンディーキャップにかかわらず与えられなければならない。
2. 活動の評価やリーダーシップ、それから計画には子供達を加える。
3. どのスポーツプログラムも、観客の娯楽が第一にならないようにする。
4. 器具や施設は、安全規格に合っていないなければならないし、子供達の発育レベルに適していないなければならない。
5. 規則や練習時間の長さは、子供達の発育レベルや年齢を考慮して作られなければならない。
6. プレイは、それ自体のために行なわれるのだから、賞は重要視しない。
7. 素晴らしいスポーツマンシップのための倫理規範を観客、指導者、役員、親、それから報道関係者達に配布する。
8. 親、指導者、後援者、それから参加者の人達が、スポーツのフェアプレイに関する彼らの責任と権利を理解するように勧める。
9. 有能な管理者は、良いスポーツマンシップや専門的技術を促進できる能力のある役員を用意すべきである。
10. 良いスポーツマンシップを重要視するために、指導者と役員の規範が向上されるような講習会を準備する。

観客

観客は、子供達がプレイする時に、人を喜ばせるプロフェッショナル選手と間違いすることは公平ではありません。

観客の規範

1. 子供達は、彼ら自身の楽しみのために、組織されたスポーツをするんだということを認識する。彼らは、観客を楽しませるためでも、プロフェッショナル選手のミニチュアでもない。
2. 自分自身にとって最善の行動をとること。また、下品な言葉や選手、指導者、それに役員を困らせるようなことはしない。
3. 自分自身のチームや相手チームによる素晴らしいプレイには拍手を送る。
4. 相手のチームがいなければ、ゲームができないのだから、相手チームに対しては敬意を表する。
5. 競技中の子供の失敗に対しては、決して嘲笑ったり、非難したりしない。
6. すべての暴力行為を戒める。
7. 役員の決定を尊重する。

8. 常に規則にしたがって、プレイするように励ましてやる。

報 道

報道は、ニュースの取材範囲内で良いスポーツマンシップや技術を取り上げることによって、フェアプレイを推進することができます。

報 道 の 規 範

1. 子供達は、プロフェッショナル選手のミニチュアではないことを理解し、若い選手達にアンフェアなプレイを期待しない。
2. 大人達のスポーツプログラムと子供達が参加しているスポーツプログラムの違いを理解する。
3. 子供達のフェアプレイや真面目な努力もニュースとしての価値があるので、読者に興味をもたせるように記述する。
4. スポーツマンらしくない孤立した振る舞いの事件でも、正確な文脈で報道する。
5. アマチュアのスポーツとプロフェッショナルのスポーツにおける目標の違いを知り、読者がその違いに気が付くように報道する。プロフェッショナルの選手は、私達を楽しませることによって給料を稼ぐ人達なので、度々スポーツマンらしくない振る舞いをするのでと理解する。
6. 組織されたスポーツにおける子供達の問題を明らかにしたり、参加者である子供達の権利の妨害や歪みを報道する。

フェアプレイ規範利用の奨励

- ・フェアプレイ精神を指導者や役員の講習会、家庭や学校に関係する協会での会議や地域のレクリエーションセンター等の研修会の規範とする。
- ・選手の会員証や指導者及び役員の証明書に規範を記入する。
- ・フェアプレイを前提条件とするために、施設のレンタルやリースの契約に規範を含む。
- ・大手のスポーツビジネスのスポンサーが、この規範を守り、彼らのチームが実施するように指示する。
- ・更衣室、体育館、教室及び事務室等に展示されるポスターに規範を載せる。
- ・地域のテレビ局の放送のために、フェアプレイ規範の討論会を組織する。
- ・親又は大人として、フェアプレイ規範を言い伝える。
- ・地域にて、スポーツにおけるフェアプレイの特徴なりを新聞に載せるように推進する。
- ・フェアプレイ賞などの奨励を考える。
- ・役員の向上プログラムやナショナル指導者検定プログラムと関連してフェアプレイの理論を確立

させる。

- 教師として、教室や体育館にてフェアプレイ規範を紹介する。
- リーグやスポーツの組織規程の中にフェアプレイ規範を含む。
- フェアプレイの要素に影響するスポーツの報道を指示する編集者に手紙を書くこと。また、フェアプレイ規範を正しく理解することを妨げるようなスポーツストーリーであっても不満を表明することをためらわない。
- スポーツ行事のプログラム、刊行物、ニュースレターや定期刊行物にも規範を含む。

精選された参考書

Selected References

The following references are not exhaustive, they have been selected especially to reflect the theme of the fair play codes. Regrettably, our research found no French materials tailored to this theme. We would welcome readers' suggestions about other resources that might be useful.

The Child in Sport and Physical Activity edited by John G. Albinson and George M. Andrew. Distributed by The Canadian Council on Children and Youth 323 Chapei Street, Ottawa, Ont. K1N 772 \$3.00.

Workshop summaries and resolutions from the national CISAPA Conference, held at Queen's University, Kingston, Ontario, in 1973. Although somewhat dated, this handbook is relevant and informative on such topics as the role of competition in sports, sport safety, needs of handicapped children, and others. Available in French and English.

Children and Youth in Competitive Sport—Guidelines for Teachers and Parents by Bryant J. Cratty. Educational ACtivities Inc., Freeport, New York. 1974. \$5.40.

Explores the various possible effects of sports upon children, and tells parents how they can help their children gain the most from sport participation. Looks at physical stress, reducing sport injuries, leadership, family influences, girls and young women in sports. Scientific reference bibliography included.

Coaching, A New Look...Strategies for Values Education in Youth Sports Programs by Jerry Glashagel et al. Developed by the National YMCA Values Educationa Center, 6801 S. Lagrange Rd., Lagrange, III. 60525. 1976.

An excellent resource book for a training event in integrating values educationl in youth sport programs. Emphasizes the Coach as value educator, and shows how children's ports can present ideal situations for players (and coaches) to learn about themselves and their values. Practical suggestions and exercises for coaches on such topics as: coaching (recruiting, working relaitonships); helping players think through value issues; releating to parents and encouraging them to get involved.

The Cooperative Sports and Games Book: Challenge Without Competition by Terry Orlick. Pantheon Books, New York. 1978. \$10.95. Paperback \$4.75.

A fully illustrated and practical book filled with fresh ideas on non-competitive games. Includes games for children 3–12 years old, remaking about games, games from other cultures, plus tips on creating your own games. An excellent resource for all who play with children.

*Every Kid Can Win by Terry Orlick and Cal Botterill. Nelson-Hall, Chicago, III. 1975. \$4.95 paperback.

The authors challenge the myth that winning in sports is of the greatest importance. Furthermore, the book focuses on the social and psychological well-being of children who at one time or another experience failure in sports.

*Everybody's a Winner by Tom Schneider. Little, Brown and Company, Toronto. 1976. \$5.50.

This guide to new sports and fitness presents a new approach to old games and a selection of new games. The emphasis is on giving one's best possible performance, so participants can look at winning and losing in a new light. Individuals of all ages and levels of ability will find the fitness ideas and suggestions most appealing.

For the Love of Sport—A Guide for Parents of Young Athletes by Renate Wilson. J. J. Douglas, Vancouver. 1975. \$5.95.

The Author shows how to choose the sport that fits the child, and gives sound advice on such topics as physiology and psychology. Discusses coaching, with tips on keeping the balance of power in the athlete-coach-parent triangle. Chapter on sports for the handicapped. Appendix on Canadian sports.

How to Change the Games Children Play by G. S. Don Morris. Burgess Publishing Co., Minnesota. 1976. \$3.95.

Describes the developmental stages through which youngsters seem to progress, though the medium of games. The teacher will find ideas on how to structure games, in order to account for individual differences and in terms of other "specific outcome behaviors". Excellent tables on games analysis are included.

*Joy and Sadness in Children's Sports by Rainer Martens. Human Kinetics Publishers, Box 5076, Champaign. III, 61820. 1978. \$11.95.

Excellent, comprehensive look at over-emphasis on winning, excessive competition, the "elimination process", incidence of sport injuries, adult involvement/interference. Directed at parents, coaches, teachers, recreators—all who care about children's sports. A total of 36 articles written by various authors, researchers, participants.

Learning About Human Behavior through Active Games by Bryant J. Cratty. Prentice-Hall, inc.,

New Jersey. 1975. \$10.95.

The purpose of this book is to teach children important lessons about human behavior and about themselves through the constructive use of games. Specific games or sports experiences are discussed in every chapter. A practical, useful resource for those who work with children.

Sports for your Child by George Sullivan. Winchester Press, New York. 1973. \$7.95.

A comprehensive guide to sports that provides answers to: the basic nature of each sport; the right age for a child to begin; approximate costs; the physical and emotional values; and associations that provide further information. The author also points out the psychological aspects of sports and how forcing a sport on a child can only lead to disappointment.

Winning is Everything and Other American Myths by Thomas Tutko and William Bruns. Macmillan New York. 1976. \$8.95.

The authors examine the growing preoccupation in North America with professional sports and the obsession to win. They feel that we should eliminate this obsession and concentrate on healthy recreation in the hope that children will develop physical skills and emotional maturity. Chapters on: Emotional child abuse; The Superstar: a curse or a blessing? Common coaching dilemmas. Includes the Young Athlete's Bill of Rights.

Winning Through Cooperation by Terry Orlick. Acropolis Books, Washington, D. C. 1978. \$12.95. Paperback \$8.95.

The book reveals why the current emphasis on competition is so harmful to society. The author explores other cultures, such as the Inuit and the Chinese, where cooperative ideals have been practised for many generations. His belief that introducing more non-competitive games into early childhood will greatly enhance the future, is presented in a very convincing and provocative manner.

*Youth Sports Guide for Coaches and Parents, edited by Jerry R. Thomas and others: Available from; AAHPER Publications, 1201 16th St. N.W., Washington, D. C. 20036. 1977. \$3.00.

Well-written handbook for coaches and parents involved in youth sports. Chapters cover a wide range of topics: coaching roles and techniques; growth and development of young athletes; skill teaching and physical fitness; team management. The book's philosophy stresses participation and equal opportunity for all children, and the importance of child-oriented sport programs. Includes Bill of Rights for Young Athletes.

*Excellent introductory and practical references.

Note: Except for The Child in Sport & Physical Activity, none of the above are available from the Canadian Council on Children and Youth. Readers are advised to buy/other desired books from their local bookstore.